

社会福祉法人 調布市社会福祉事業団

1 基本方針

調布市社会福祉事業団は、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を確実、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上並びに事業経営の透明性の確保を図る。

経営理念・経営方針を全職員が共有し、法人経営の両輪である障害福祉事業及び子育て支援事業に取り組み、地域福祉の推進に努める。

2 法人の現状と課題

世界的に経済成長の見通しがつかない状況にある。国内の企業収益は緩やかに改善しつつあるが、業種間での差もあり景気の回復が実感できる状況に至っていない。

国、地方自治体の財政状況は引き続き厳しい状況が続いており、社会保障・福祉関連予算の増加が続き、その割合は年々増大している。特に子育て支援の分野では、保育園待機児の解消や児童福祉法の改正による施策の拡充に向けた対策が強く求められている。

本年度より施行される、社会福祉法の大きな改正による制度上の改革に対処し、経営組織のガバナンスの強化と事業運営の透明性の向上に取り組むとともに地域における公益的な取り組みを行い福祉サービスの供給体制の整備を行う。

平成26年度に定めた中長期計画の第2期を迎え、第1期の課題の整理を受け、障害福祉と子育て支援を事業の両輪として事業展開を行う新たな計画に基づいた事業の推進に取り組む。

職員の専門性の向上と人材育成に努め、新たな事業の安定実施を図りたい。

3 重点項目

- (1) ちょうふだぞう・すまいる分室移転に伴う事業の安定実施
- (2) 深大寺みつばちの事業の安定実施

- (3) 障害者グループホームの開設をはじめとした中長期計画の推進
- (4) 地震等による大規模災害及びあらゆる事態を想定した防災対策の検討と備えの強化
- (5) 職員一人ひとりが虐待防止に努め、利用者サービスの向上が図れるよう各施設での実施体制の強化